

～親子で一緒にお読みください～

## 【読書に親しもう!】

児童生徒の皆さんには、心に残る大切な一冊の本がありますか？

そんな本に出逢えたらなんと素敵なことでしょう。素敵な本に出逢い、時間を忘れ、夢中で読んでいると、集中して物事を考えたりするため、顔が引き締まって美しくなると言われています。

統計によると、小学生から中学生、高校生と学年が上がるにつれて、本を読まなくなる傾向にあり、とても残念なことです。小学生、中学生、高校生のそれぞれの時期にしか出逢えない本が必ずあります。そのような本にめぐり逢うことは、人生を豊かにし、新しい自分を発見することにつながります。

そもそも一冊の本の中には、様々な世界や人生が詰まっています。本を読むことは、その本の著者や登場人物と対話し、精神を集中して思考することにつながり、豊かな感性や情操が磨かれます。自分の想像する世界や、人生をどう生きるかを、心の中に描く手助けをしてくれます。国立青少年教育振興機構などの調査によると、「子どもの頃の読書活動が多い人ほど、未来志向、社会性、自己肯定感、論理的思考などの意識や能力が高くなる」との報告があります。

読書は心の栄養なのです。人は誰でも読書を通じて感動できます。児童文学作家の椋鳩十（むくはとじゅう）氏が、「感動は心の扉をひらく」と言っています。動物を題材にした作品を数多く発表しており、中でも「大造じいさんとがん」は小学5年生国語の教科書にも載っています。長野県下伊那郡喬木（たかぎ）村の椋鳩十記念館にある文学碑には「活字の林をさまよひ、思考の泉のほとりにたたずむ」と刻まれています。

私のふるさと喬木村です。子どもの頃、親と子の20分間読書活動があり、母と妹、私の3人で同じ本を読み、感想を出し合ったりしたことが、とても懐かしい、ほのぼのとしたふるさとの思い出として、心に残っています。児童生徒の皆さんも、夏の夜、虫の声を聴きながら、親子で同じ一冊の本を読み、その本から感じたことや思ったことを親子で話し合うなど、是非体験してみてください。きっとすばらしい世界が広がっていきますよ。

(少年指導センター指導員Y)



## 青少年問題シリーズ

VOL. 107  
2022.7月号

# 充実した夏休みに



『車に気を付けて帰ろうね』  
～川越小学校 下校風景～

## 青少年悩みごと相談

不安なとき・困ったとき

ひとりで悩まずご相談ください。秘密は守ります。

川越市役所こども育成課内「少年指導センター」へ

049-224-5724 (直通)

▶ 友達のこと、学校のこと、家族のこと、心や身体のこと…。

悩みごとや心配ごとのある方、保護者の皆様、お気軽にお電話ください。

相談時間 火・水・木曜日（祝・休日、年末年始を除く）  
午前10時～午後5時（受付は午後4時30分まで）

▶ メール相談も受け付けています。

川越市 青少年悩みごと相談

検索



スマートフォンはこちらから



川越市マスコットキャラクター トキモ

## 川越市少年指導センター

川越市役所 こども育成課内

令和4年7月号（第107号）

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙にリサイクルできます。 リサイクル適性

# 充実した夏休みに



もうすぐ楽しみにしている夏休みがやってきます。  
長い夏休み、自分の生活が不規則にならないよう、  
一日一日を大切にしながら、いろいろなことに挑戦し、  
最高の思い出をつくりましょう。  
(下のチェックリストに、できたものをチェック☑しましょう。)

## 1 夏休みの目標と計画を立て、実行しましょう!

一学期を振り返り、具体的な内容で、こつこつ着実に取り組みましょう。

## 2 心身ともに鍛え、健康な毎を送りましょう!



- 早寝・早起き・朝ごはんの習慣を続けましょう。
- バランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めましょう。
- ゲームやスマホなど、親と相談し、家族のルールを決めましょう。
- 交通事故や水の事故、不審者に気をつけましょう。  
外に出かけるときは防犯ブザーを携帯しよう。

## 3 進んで学習に取り組みましょう!

- 毎日の学習時間を決め、「一学期の復習」や「夏休みの課題」、そして「自主学習」に取り組みましょう。
- 読書の習慣を身につけましょう。



## 4 家庭や地域でのふれあいを大切にしましょう!

- 家庭の一員として、家事を分担し手伝いましょう。
- 家族で語り合う時間を大切にしましょう。
- 地域行事等に参加し、地域とのつながりを大切にしましょう。

# 子どもの読書活動の充実を!!

長期の休みである夏休みは、自分の自由な時間も増え、読書に絶好の機会です。読書の素晴らしさや意義について、ご家庭でもお子さんと話し合い、読書の習慣を身につけていきましょう!

近年、本を読まなくなった子ども達が増えており、学年があがるにつれて読まない子が増加傾向にあります。30年前と比較しても読書量が3分の1に減少したとも言われています。

| 2021年5月の1ヵ月間に読んだ本の平均冊数 |       |
|------------------------|-------|
| 小学生                    | 12.7冊 |
| 中学生                    | 5.3冊  |
| 高校生                    | 1.6冊  |



| 2021年5月の1ヵ月間に読んだ本が0冊の子どもの割合 |       |
|-----------------------------|-------|
| 小学生                         | 5.5%  |
| 中学生                         | 10.1% |
| 高校生                         | 49.8% |

【参考資料:第66回学校読書調査(全国学校図書館協議会と毎日新聞社)】

○本を読まなくなった理由には、ゲームや携帯、部活動や塾等で読書の時間が削られてきたことがあげられますが、「ふだんから本を読まない」と答えた児童生徒も増えています。

読書好きの子どもにはこんな傾向があります。

- 本を持ち歩いて読む
- 地域の図書館で本を借りる
- ジャンルを問わず読む
- 同じ本を繰り返し読む
- 目次、前書き、解説なども読む

【参考資料:子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究(国立青少年教育振興機構)】

☆読書をする子どもが多い子どもほど、知識が増え、集中力が高まり、想像力やコミュニケーション力が豊かになる傾向にあります。



子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの  
【子どもの読書活動の推進に関する法律(第二条)】

